

♪K.M.C.通信♪ 2020—No. 3

2020. 1. 12 発行

♪年が明け、今後は本番までほぼ毎週の練習となります。

練習回数が限られていますので、1回1回の練習を大切にしていきましょう。練習を欠席した時には必ず、以下のリンクかCDで録音を聴いて、内容を把握して下さい。

《<http://musica-fons.info/KMC/Members/PracticeRecording2020.htm>》

♪練習メモ♪ 本練習② 2019.12.15 稔台市民センター第1ホール

ドイツレクイエム 第6曲

- ・ G-dur の和音で始まったが、8小節で e-moll に変わることを感じて。Sop.は Bas.の1オクターヴ上にきちんとはまるように。
- ・ 53小節の合唱は、その前の Bar.ソロの最後で cis-moll に転調するのを引き継いで入る。
- ・ 82小節～この曲の第2場面。最後の審判の場面…ヘンデル『メサイア』の「The trumpet shall sound」、モーツァルト『レクイエム』の「Tuba mirum」に通じる。厳しさを持って。スタッカートは楽譜通りに。c-moll と e-moll の交替も重要。
- ・ 127小節～1回目と違いアウフタクトで入る。間奏の間に準備して。
- ・ 192小節～196小節の3つの和音は、Sop.は同音だが和音が変わっていくのを感じて。
- ・ 208小節～第3場面、フーガ。各パートとも“Herr,” から“du bist”と下りてくる時に必要以上に下がってしまわないように。
- ・ 234小節最後～新しい言葉“denn du hast”が始まることを意識して歌い継いで。

ドイツレクイエム 第3曲

アルトラブソディ

- ・ 135小節～間奏が H-dur から h-moll にかげったのを受けて138小節の和音に入る。その後も目まぐるしく転調するが、和音の変化を感じて音を取るように。

※ 通信に載せる練習メモは、本練習でやった内容の抄録です。網羅していない部分は録音を聞いてご確認下さい。